

ひやく しゃく かん どう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り
第16号
平成23年11月1日 発行

札幌市青少年山の家
管理係長 大場 睦彦

11月・12月のご利用について

山の家周辺では近年稀に見る美しい紅葉もほぼ終わり、木々が葉を落とした冬の訪れを感じさせられる風景となってきました。

10月をもって今年度の野外炊事プログラムが終了し、山の家では冬季のプログラムの準備を行っているところですが、雪が降るまでのこの時期におすすめの活動があります。いくつかご紹介しますので、晩秋の滝野の自然をワイルドに体験してみませんか？

①野外炊事はできませんが、食育を考え食堂でのバイキングを楽しんだり・・・



お知らせ

食堂のメニューが、11月から変わります。詳しくは、ホームページを参照願います。
秋冬の新鮮な素材がいっぱいのメニューです！！



②風倒木を利用した丸太切りやクラフト体験をしたり・・・



自分たちで切った丸太を使い、トーテムポール作りする子どもたち（主催事業：森もりキャンプ）

③ふきのとうやマツヨイグサのぺっかなど冬の準備をしている植物を観察するハイキングを楽しんだり・・・

また、研修室を使い小集団で、研修活動を行ったり、冬でも実施できる室内キャンプファイヤーを楽しんだりと活動は多種多様です。

活動の詳細については山の家までお気軽にお問い合わせください。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

10月実施事業より(ご報告)

異年齢交流

自然環境

■森もりキャンプ (10月8日～10日、参加者 62名)

小学1年生から6年生対象、異年齢交流と自然環境をテーマにしたキャンプ事業「森もりキャンプ」が行われました。



笑顔がキラリ!



キャンプファイヤー



モリモリ!



秋の味覚
クッキング



丸太の皮むき



トーテムポールづくり



【10月の利用者アンケートより】

○年々設備が充実してとても過ごしやすかったです。

○職員さんの対応からプロとしての誇りを感じ、日々過ごされている気迫が伝わってきました。

▲入浴時間の割り当ては1校につき1時間なのでしょうか。

→複数団体利用の場合は、1時間ごとに調整をさせていただいております。単独利用や早い時間帯の入浴であれば、ゆとりを持った時間設定が可能な場合がありますのでご相談ください。

▲細かな食堂の利用の仕方を当日説明されましたが、事前に詳しく知れるよう資料を整備していただきたいです。

→食堂利用に関する詳しい資料を作成し、事前にお渡しできるよう検討します。

【植物豆知識：高山植物】

先日、ある登山ガイドでニセコの「ニトヌプリ」に登山してきました。前号で記述した紅葉は少々散りかけだったのですが、ハイマツ・ガンコウラン・シラタマノキ・オヤマリンドウなどの高山植物の観察を楽しんできました。本州では2500m以上が高山、1500m～2500mが亜高山地帯となるのが通常ですが、数百m級の山々(道北では海岸でも)で高山植物を楽しむことができるのも、北海道の自然の特徴でしょう。なんだか得した気分になりませんか?ちなみに、札幌市青少年山の家のもんごる [シラネアオイ] も高山植物の一種です。



『オヤマリンドウ』

発行者：札幌市青少年山の家指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会

住所 〒005-0862 札幌市南区滝野2 4 7 番地

電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394

URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>